

ヒロカワのあれやこれや 教育長のこぼれ話



広川町地域学校協働本部をご存じですか

地域学校協働本部とは、地域の高齢者や成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業など、幅広い層の地域住民や団体が参画し、緩やかなネットワークを形成しながら、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える体制のことです。広川町では、令和4年度から設置されています。

地域学校協働本部が目指す「学校を核とした地域づくり」のために、地域と学校がパートナーとして連携・協働して行う活動を「地域学校協働活動」といいます。平成28年に、学校支援地域本部の取り組みが「支援」から「協働」へと進化し、地域学校協働活動へと変わっていきました。

地域学校協働本部では、「学校支援」「学習支援」「体験活動」の3つの活動を行い、地域の皆さんにボランティアとして参加いただいています。活動のコーディネートをを行っているのが、坂本幸枝さん（写真右）です。



今回は、学習支援活動の一端を紹介します。

広川町教育委員会では、「地域とともにある学校づくり」を推進しています。広川町の各学校では昔から多くの町民の協力を得て、授業づくりが行われてきました。現在は教育委員会に地域学校協働本部を設置して地域の人材を活かした授業づくりをしており、今回は支援活動の一部を紹介します。

■広川中学校放課後学び道場

社会人や大学生の学習ボランティアが、中学生の学習を支援する活動です。開設から10年になります。



■小学校家庭授業支援（ミシンボランティア）

町内3小学校の家庭科のミシンの授業で、複数のボランティアがミシンの使い方を補助します。ボランティアの協力により、一人ひとりに丁寧な指導ができるようになり、授業の充実につながっています。



【ミシンボランティアを行った感想】

- ・児童たちに元気をもらいました。
- ・担当した班の児童が「ありがとうございました」と声をかけてくれてとてもうれしかったです。

授業の中には、まだ地域住民の協力を必要としている部分があります。皆さまのご協力をお願いします。

爽やかにさわやか色に咲き続く梅雨のはしりの青き紫陽花
恋蛩もつれ飛ぶ道散歩する福田橋から中島橋へ
草を刈る水利組合の老いびとへ梅差し出せば少年の笑顔
いちめんに広がる早苗田水鏡 頭上の空と足もとの空
くちなしの蕾がひらく密やかにこの世に生れし吐息にも似て
次々と芽を出し伸びるシクラメン球根休まず命続ける
衣類干す梅雨の晴れ間のありがたし見上ぐる空に夏雲の湧く
世界中が「勝ち点」とやうに大わらわ狂乱を呼ぶワールドカップ
雷と繁吹き雨なる音きこゆ三年前の災害おもう
亡き母の扇子あふげばさやそよと言の葉散りて千々にながるる
かそけくも庭におのれを主張して山アジサイの底なしのブルー
揃い出た双葉を間引くその度にバジルの香り鼻をくすぐる
具だくさんの昔ながらのだご汁は何より旨し我にいちばん
来世でも一緒になるかと顔見れば微笑みながら首を傾げる
楕円形の七人掛けのテーブルのかの日のちさき疵が消えない

山下 整子
山崎 信
有吉 冴子
山下 聖子
鹿田 恵
北川 順子
高橋 和子
外山ゆう子
原 徹
結束 節子
青木佳代子
野田 章子
溝田 幸
蓮子 住雄
姫野 洋子

ひろかわ短歌会

広川文芸



ふるさと 再発見

広川町郷土史研究会

広川町にある巨樹・珍樹 その24

ボダイジュ

ボダイジュは、漢字で「菩提樹」と書きます。仏教徒にとつては、三大聖樹（無憂樹・印度菩提樹・沙羅双樹）の一つで、お釈迦さまはこの樹の根元に座つて悟りを得たと説かれています。そのことから、寺院の一隅に植栽されることがあります。

八女市馬場の天福寺境内にあるボダイジュは、福岡県指定天然記念物となっています。県内にはこのほかに3カ所、県指定のものがあります。

広川町内では見つかりませんが、隣接する筑後市一条の松月山長照寺境内にも所在しています。法量は、

樹高 約15メートル
幹周 1・70メートル
推定樹齢 約150年
を測ります。

日本で見られる「ボダイジュ」は、アオイ科シナノキ属の樹木であり、いわゆるインドボダイジュ（クワ科イチジク属で熱帯性）とは異なります。

『牧野日本植物圖鑑』では、「此樹真正ノ菩提樹ニ非ザレ

ドモ、舊ヨリ其名ヲ冒シテ今日ニ至レリ」と説明されています。

木の実は極めて小さいことから、数珠玉としては使えないといわれています。

「シナノキ」という名前で気づいた人もいるかと思いますが、令和6年8月号の「広報ヒロカワ」で、新しい町指定天然記念物として紹介した樹木のことを思い出してください。私たちが見ることができ「ボダイジュ」は、そのシナノキの仲間だったのです。

インドボダイジュと葉がよく似ることから、日本では三大聖樹の一つとして、認識されていたようです。

ちなみに、三大聖樹の一つである無憂樹は、英語で「アショカツリー」と呼ばれます。本来、旧暦4月8日の釈迦誕生を祝う灌仏会（花まつり）で、花御堂を飾るときには、この花を使うそうです。しかし、日本では見ることができないため、ほかの春の花を使って飾りつけているという事です。



▲長照寺境内のボダイジュ（筑後市一条）

広川町古墳資料館だより

猛暑の季節になりました。古墳公園資料館は冷房が効いたクーリングシェルターになっています。夏休み期間、研修室が空いている日は開放していますので、古代の歴史に触れながら読書や学習など

に利用してください。8月9日(日)・16日(日)・23日(日)・30日(日)は、石こうで「石人をつくろう」を開催します（対象：小学生〔低学年は保護者同伴〕、各回10人まで、材料費300円）。ぜひ、ご参加ください。



▲石こうで作った石人